われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

今後の日本遺族会の運営について協議

中国・四国ブロック遺族会

中国・四国ブロック遺族会は九月八日、愛媛県松山市で平成二十三年度一回目のブロック会議を開催し、九段会館の廃業に伴い設置された「今後の遺族会を考える特別委員会」が提出した「今後の日本遺族会事業計画・予算案・分担金・役員定数等に対する対応について協議を行った。特に平成二十四年度からの支部分担金の増額及び本部配分金の廃止など、日本遺族会から示された素案を中心に議論が交わされた。

「今後の日本遺族会の方針」の詳細については、本紙六月号（一一五四号）に掲載しお知らせしているが、その要旨は次のとおりである。

(1)　平成23年度活動方針・事業計画及び予算は、概ね計画どおり実施する。

(2)　今後は九段会館からの繰入金が見込めないことから財政的に極めて厳しい運営を強いられることが予想される。

このため、平成23年度に限り基金を取り崩すなどして一般会計に必要額を上限を設けて繰り入れることとする。

(3)　平成24年度からは支部分担金の増額をお願いする。

(4)　平成24年度からは本部分担金の配分金を廃止する。

なお、(3)及び(4)については、各支部に大幅な負担を強いることから、各支部の合意を得なければならない。このため、各ブロック遺族会会議等において事業と予算の両面から検討願い、その結論を平成二十四年度からの活動方針・事業計画及び予算に反映させる。―としている。

中国・四国ブロック遺族会会議
（９月８日：愛媛県松山市）

今回、愛媛県で行われた中国・四国ブロック会議には、日本遺族会から尾辻秀久、森田次夫、増矢稔の各副会長と畔上和男事務局長、そして中国・四国九県の遺族会からは会長、女性部長、遺児代表、事務局長ら五十二名が参加。本県からは岸本会長、近常副会長、秀平女性部長、豊島事務局長の四名が参加した。

会議は午後一時三十分、開催県の愛媛県遺族会の鎌田副会長が開会を宣し、国歌斉唱に続いて英霊並びに東日本大震災の犠牲者に対して黙祷を捧げた。

次いで、関谷愛媛県遺族会会長が「この度の東日本大震災は国難そのものであります。経済、政治、社会体制、国際社会の中での日本の立場等々大きく変わってきます。日本人一人一人が日本の再生に何らかの力を出していかなければなりません。そうした状況の中で、日本遺族会も九段会館を国へ返し、会館からの収入が入ってこなくなる。従って、それを各県でカバーしていかなければならない状況になっています。遺族会が存続するために、お互いが耐え忍んで協力をしていかなければなりません。この会議で色々とご意見を出し、議論していただき、今後の日本遺族会の発展につながる会議になるようお願いしたい」と挨拶を行った。

次に、日本遺族会の尾辻秀久副会長が「今年の全国五つのブロック会議は九月に集中して開催されることになっており、大きく云えば日本遺族会の存亡をかけた会議であります。

日本遺族会は大変厳しい状況におかれています。四月の緊急理事会・評議員会で九段会館を国に返すこと、日本遺族会を存続させることの二点が決定されましたが、その他のことはまだ何も決まっていません。白紙の状態です。今後の日本遺族会をどうするのか、各ブロック会議で議論していただくこととなっています。

今日は議論の前提として、日本遺族会の資料（素案）を出しています。叩き台の叩き台でありますので、自由に色々なご意見を出していただきたい」と挨拶を行った。

続いて、中村時広愛媛県知事（代理）、寺井修愛媛県議会議長ら来賓からのご挨拶をいただいた後、関谷会長を議長に議事に入った。

先ず、畔上事務局長が英霊顕彰並びに処遇改善運動、そして日本遺族会の状況など中央情勢について説明を行った後、今回の最重要議題である「支部負担金の増額及び本部配分金の廃止、本部役員等の定数削減」が上程された。

支部負担金の増額に関して出席役員から「先ず日本遺族会の資産状況を明示する必要があるのではないか」との意見に対し、「九段会館の事故被災者や関係業者への補償の見通しが不透明な中ではあるが、これらの補償問題を勘案すると日本遺族会の預金は殆ど残らないのではないか」との答弁があったが「各県支部も会員の減少により会費収入も減り、財政的に大変厳しい状況の中で負担金の増額は困難である。事業計画の更なる見直しを図り行い、経費の削減を図るべきである」等、多くの反対意見が出された。

一方で、「英霊顕彰運動や遺族の処遇改善など、日本遺族会がこれまでに果たしてきた役割は大きなものがある。また、靖國神社問題をはじめ、父母特給や特別弔慰金の継続など大きな運動が控えている。今後とも日本遺族会を存続させるためにも一定の負担増はやむを得ない」との意見も出された。

また、本部からの配分金については、九段会館の収益を各県支部に色々な名目で還元してきたものであることから、このたびの廃止は九段会館の廃業に伴うものとして特段の反対意見は無かった。

そして、役員等の定数削減についても、経費削減等の観点から反対意見は出されなかった。

会議では、今回の中国・四国ブロック遺族会会議をはじめ、全国各ブロック会議で出された意見を基に、常任理事会等において素案を再検討し、平成二十四年度の事業計画・予算案を策定していただきたい旨、日本遺族会に要請することとなった。

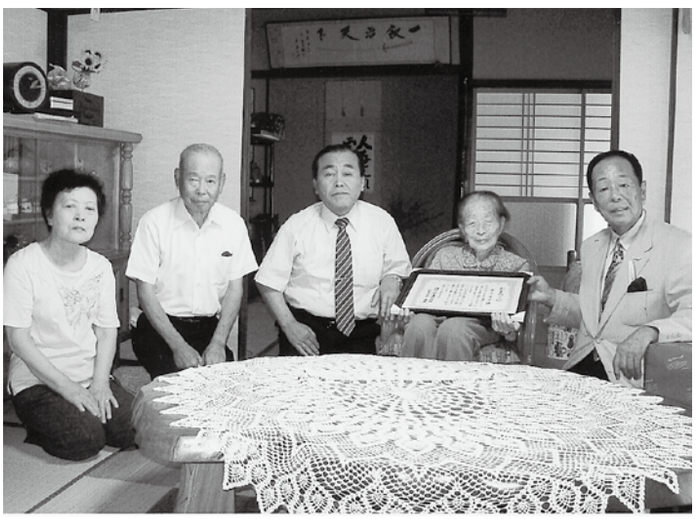
その他、孫・曾孫を遺族運動へ参加させることなど、組織の拡充強化について日本遺族会女性部研修会で取りまとめられた提言について協議を行い、最後に次期開催県を岡山県に決定し、午後五時三十分、会議を終了した。

平成23年度県連盟老人福祉事業
百歳の長寿を達成されたご遺族の皆様へ記念品を贈りお祝い

県遺族連盟では老人福祉事業として、毎年「敬老の日」を中心に、今年百歳（本年は明治44年生まれ）になられた戦没者ご遺族の皆様方に記念品を贈り長寿をお祝いしている。

今年は、県下十一支部の遺族会で十四人（戦没者の妻十三人、同姉一人）の皆様方が、めでたく百歳の長寿を達成され、去る九月十一日・十二日の両日、岸本会長、近常副会長及び事務局職員と共に、ご自宅や入所されている福祉施設を訪問、明治・大正・昭和・平成の時代を生き抜いてこられたご苦労を偲ぶと共に、長寿達成のお祝い状と記念の品（祝布団セット）を贈り慶祝の意を表した。

また、身寄りのない戦没者の父母（父母特給受給者）二人、一人暮らしの妻の皆様（百九十三人）には、各市町村遺族会を通じて慰問の品（タオルセット）を贈りお慰めした。



本年、めでたく百歳の長寿を達成されたご遺族は次の皆様方です。今後とも幾久しくお元気でお暮らし下さい。

＊津山市日上
和田　里さん（妻）
明治43年9月20日生

＊倉敷市茶屋町
三浦千代子さん（妻）
明治43年11月3日生

＊岡山市北区高松稲荷
秋山　虎野さん（妻）
明治44年1月6日生

＊笠岡市甲弩
坂本カヤ子さん（妻）
明治44年1月10日生

＊備前市日生町日生
根岸喜代子さん（妻）
明治44年1月17日生

＊美作市下香山
井上　秀子さん（姉）
明治44年2月18日生

＊浅口郡里庄町里見
竹内キヌエさん（妻）
明治44年7月21日生

＊岡山市北区南方
大町八重子さん（妻）
明治44年8月7日生

＊備前市東片上
春名なつよさん（妻）
明治44年8月28日生

＊総社市総社
茅原　石子さん（妻）
明治44年10月15日生

＊倉敷市二子
仁紫トミ子さん（妻）
明治44年10月20日生

＊倉敷市大畠
新田　松江さん（妻）
明治44年10月20日生

＊浅口郡里庄町里見
安原　竹代さん（妻）
明治44年11月25日生

＊倉敷市玉島乙島
滝澤　澤與さん（妻）
明治44年12月28日生

平成23年９月吉日

ご遺族様

岡山県戦没者顕彰会会長　**河本　勉**

謹啓　初秋の候　ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の岡山県戦没者秋季慰霊祭を下記により執り行いますので、万障お繰り合わせのうえご参列下さいますようご案内申し上げます。

なお、東山電停より護國神社の間を、無料バスにより送迎を行いますので、多数ご参列下さいます様お願いいたします。　敬具

記

１．日　　時　10月５日㈬
　　10時～11時30分（雨天に拘わらず執行）
　　※10月６日㈭は護國神社秋季慰霊大祭が10時から執り行われます。

２．祭　　場　岡山市中区奥市３－21　岡山県護國神社

３．協賛行事

10月５日	10月６日
備中神楽　華道展	備中神楽　詩吟
吉備舞	吉備舞　華道展
詩吟舞	銃剣道

１．自家用車駐車場はありません。電車・バス等をご利用下さい。
２．電車・バス等でご参拝の方は、無料送迎バスを運行（約５分間隔）していますので、ご利用下さい。
　＊運行区間　東山電停～表参道鳥居前～護國神社間
　＊運行時間　午前９時～12時
３．当日参列のご遺族１人に１個、記念品を差し上げます。
４．ご希望の方には後楽園入場券を差し上げます。
５．参列に際しましては、慰霊祭終了まで会場にご臨席いただきます様お願いいたします。

慰霊友好親善事業参加者募集

広域・特定の11地域を実施

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。

参加対象者は実施地域での戦没者の遺児で参加費用は十万円。現地では亡き父の終焉の地で慰霊祭を行うと共に、小学校や病院などを訪問し、現地の方々との友好親善を図ります。

是非、この機会に関係遺児の皆様のご参加をお勧めいたします。

「一度は亡き父の戦没地を訪れ慰霊をしたい」との戦没者遺児の切なる思いを受け、平成三年から行われている本事業は今年度で二十一年目を迎え、これまでに一万人を超える遺児が参加しています。

旧主要戦域への慰霊巡拝は、訪問する国の事情や交通手段等の関係から容易に訪問できないなど困難な状況もありますが、日本遺族会では、亡き父の終焉の地に一歩でも近くにとの願いにお応えするため、慎重に計画を進めています。

東部ニューギニア（二次）ではラビ方面、フィリピン（二次）ではパラワン島を初めて訪問する予定です。また、昨年に引き続きミャンマー・インド（二次）でインパール、コヒマを実施します。

募集要項は次のとおりです。

▼実施地域・時期　別表のとおり。

▼参加経費　十万円

▼応募資格　実施地域で父等を亡くした戦没者の遺児で過去に本事業に参加したことのない方。但し、平成十七年度以前に参加した方については二回目の応募が可能です。

▼その他　東京都内等に集合し、結団式及び渡航にかかる説明会を行います。なお、集合場所及び解散場所からの交通機関の手配は参加者自身が行うと共に、国内交通費及び帰国時の宿泊代等は個人負担となります。

また、巡拝地域や実施時期等は相手国や交通機関等の事情で変更、延期又は中止する場合がありますので、予めご承知おき願います。

▼お申込みは　県遺族連盟まで

(広域地域)

	実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
		主な訪問予定地		
1	ソロモン諸島	平成23年11月26日(土)～12月３日(土)　７泊８日	20人	平成23年10月11日
		・ガダルカナル島、ニュージョージア島（ムンダ）		
2	マリアナ諸島	平成24年１月13日(金)～１月19日(木)　６泊７日	40人	平成23年12月１日
		・A班=グアム島、サイパン島　・B班=サイパン島、テニアン島		
3	西部ニューギニア（２次）	平成24年２月１日(水)～２月10日(金)　９泊10日	35人	平成23年12月15日
		・A班=ジャヤプラ（旧ホーランジャヤ）、ゲニム、ビアク島 ・B班=ハルマヘラ島、マノクワリ、ビアク島		
4	東部ニューギニア（２次）	平成24年２月11日(土)～２月18日(土)　７泊８日	37人	平成23年12月22日
		・A班=マダン、ハンサ、ウエワク ・B班=ウエワク、ココダ、ギルワ、ポポンデッタ、ラビ		
5	トラック諸島	平成24年２月18日(土)～２月25日(土)　７泊８日	20人	平成23年12月26日
		・春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上慰霊		
6	パラオ諸島	平成24年２月18日(土)～２月25日(土)　７泊８日	20人	平成23年12月26日
		・パラオ本島、アンガウル島、ペリリュー島及び環礁内洋上慰霊		
7	フィリピン（２次）	平成24年３月２日(金)～３月９日(金)　７泊８日	120人	平成24年１月16日
		・A班=マニラ及び東方山地、クラーク ・B班=ルソン島北部（バギオ、クラーク） ・C班=ルソン島北部（バレテ峠、ソラノ、キャンガン、オリオン峠） ・D班=マニラ、パラワン島、パナイ島、セブ島 ・E班=ネグロス島（バコロド）、ミンダナオ島（ダバオ、タモガン） ・F班=レイテ島（ブラウエン、リモン峠、ビリアバ、オルモック）、サマール島		
8	ミャンマー・インド(２次)	平成24年３月12日(月)～３月21日(水)　９泊10日	45人	平成23年11月11日/インド 平成24年１月27日/ミャンマー
		・A班=ヤンゴン、カレミョー、メークテーラー、パガン、サラワジ ・B班=ヤンゴン、アキャブ、ミートキーナ、マンダレー ・C班=インパール、コヒマ		
9	中国・バシー海峡（２次）	平成24年３月21日(水)～３月29日(木)　８泊９日	65人	平成24年２月６日
		・A班=北京、鄭州、太原　・C班=広州、桂林、長沙 ・B班=上海、武漢、岳陽、長沙　・D班=バシー海峡（台北、高雄）		

(特定地域)

10	マーシャル・ギルバート諸島	平成24年２月４日(土)～２月12日(日)　８泊９日	36人	平成23年10月３日/マーシャル 平成23年12月19日/ギルバート
		・A班=クエゼリン、ルオット、マジュロ、ヤルート、ミレー ・B班=タラワ、マキン		
11	ビスマーク諸島	平成24年２月11日(土)～２月18日(土)　７泊８日	36人	平成23年12月22日
		・A班=マヌス、カビエン、ラバウル ・B班=ブカ島、ブーゲンビル島（機上遥拝）、ラバウル		

※班の選択はできませんので予めご了承願います。

遺書

陸軍軍曹　中西八郎命

昭和十八年九月十四日
東部ニューギニア付近にて戦死
三重県度会郡城田村出身　二十三歳

兄ハ此ノ度（たび）、大東亜戦争ノ第一線ニ参加スルノ光栄ニ浴（よく）シ、勇躍（ゆうやく）聖徒（せいと）ニ就ク。固（もと）ヨリ毫（ごう）モ生還ハ期セズ。

吾無キ後ハ、我ニ代リ我々ノ養育ニ終生ヲ捧ゲシ御両親様ニ、十分ナル孝養ヲ尽サレンコトヲ望ム。

兄戦死スト雖（いえど）モ、決シテ歎（なげ）クコトアルベカラズ。

益々勇気百倍兄弟力ヲ合セ、家名ノ隆昌（りゅうしょう）昂揚（こうよう）ニ勉（つと）ムベシ。

兄ハ、オ前達一同ノ健康ヲ祈ルヤ切ナリ。

昭和十八年六月二十四日

兄ヨリ
弟妹一同ヘ

（原文のまま）

【平成二十三年九月　靖國神社社頭掲示】

「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝参加者募集

県遺族連盟では毎年、県補助事業により、沖縄県糸満市の摩文仁の霊域に建立されている「岡山の塔」に於いて「沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式」を執り行い、国難に殉ぜられた戦没者ご英霊をお慰めすると共に世界恒久平和実現をお誓い申し上げています。

平成23年度は11月11日㈮から同13日㈰の日程で沖縄県の戦跡地を巡り、12日㈯には岡山県及び沖縄県当局のご臨席を賜り、「岡山の塔」に於いて戦没者追悼式を執り行い、苛烈な戦いに倒れられた郷土出身戦没者の御霊に感謝の誠を捧げたいと存じますので、皆様お誘い合わせのうえ、ご参加を賜ります様ご案内申し上げます。

月　日	巡　拝　日　程	宿　舎　名
11／11 ㈮	岡山駅西口又は岡山空港集合 ～ 岡山空港発（９：45）ジェット機 那覇空港着（11：45）～ 那覇市内（昼食）～ 沖縄県護國神社参拝 ～ 旧海軍司令部壕 ～ 守礼の門・首里城公園 ～ 宿舎着（17：00頃）	那 覇 市 沖縄都ホテル
11／12 ㈯	宿舎発（８：30）～ 沖縄陸軍病院南風原壕 ～ 摩文仁 …「岡山の塔」岡山県出身戦没者追悼式 … 国立沖縄戦没者墓苑参拝 … 平和の礎 ～ ひめゆりの塔参拝（昼食）～ 宜野湾市嘉数高台（普天間基地）～ 海の駅「あやはし館」～ 宿舎着（17：00頃）	うるま市 タイムリゾート伊計島
11／13 ㈰	宿舎発（９：00）～ 道の駅「かでな（資料館）」～ 座喜味城跡 ～ 残波岬（昼食）～ 御菓子御殿 ～ 沖縄北IC ～ 豊見城名嘉地IC ～ 泡盛ギャラリー ～ 那覇空港発（16：35）ジェット機 岡山空港着（18：25）～ 岡山駅前（19：00）頃	

◎参加経費　48,000円（但し、補助対象者お一人経費）
＊補助対象者／戦没者遺族（但し、戦没者一柱につき１名が補助対象となります）
上記以外の方並びに一般の方は10,000円の追加経費でお受けいたします。

◎申込方法　＊参加者の住所、氏名、年令、性別、戦没者との続柄、電話番号、集合希望場所（岡山駅西口か岡山空港）、＊戦没者の氏名、戦没場所―以上の事項を明記（郵便振替用紙の通信欄でも可）し下記までお申し込み下さい。
〒703-8272 岡山市中区奥市３－22「岡山県遺族連盟」TEL086-271-7175／FAX086-271-4815

◎経費送金　郵便振替をご利用下さい。（振替番号）岡山 01230－9－3532　財団法人岡山県遺族連盟

◎申込締切　10月17日㈪までに　　◎募集人員　60名

◎そ の 他　①集合時間など詳細については日程が確定次第、参加者の皆様にご案内いたします。
②上記の日程は交通機関等の都合により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

遺族会の動き

平成二十三年九月行事表

8日 中国・四国ブロック遺族会会議（愛媛県）9日まで
11日 新見市草間地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
13日 県連盟老人福祉事業／百歳ご遺族御祝い（一日間）
16日 県連盟女性部正副部長会議（県連盟会議室）
19日 瀬戸内市遺族連合会女性部長会議（瀬戸内市中央公民館）「敬老の日」県連盟老人福祉事業／身寄りのない父母・一人暮らしの妻慰問（県下）
22日 岡山陸軍墓地秋季彼岸祭（岡山市津高・旧岡山陸軍墓地）
24日 玉野市戦没者追悼式（玉野市民会館）
26日 県連盟外国地域戦跡慰霊巡拝（東部ニューギニア方面）五泊
29日 高梁市川面地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
30日 高梁市成羽地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
津山市戦没者追悼式（津山市総合体育館）

平成二十三年十月行事表

4日 浅口市戦没者追悼式（浅口市中央公民館）
5日 岡山県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
6日 高梁市高梁遺族会護國神社参拝（県護國神社）
岡山県護國神社秋季例大祭（県護國神社）
8日 新見市神郷地区戦没者追悼式（神郷地域福祉Ｃ）
11日 日遺支部事務局長・職員研修会（栃木県）一泊
13日 県連盟女性部平成23年度第一回研修会（広島市方面）
14日 笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
15日 県連盟役員・市郡連合会事務担当者合同研修会／県護國神社清掃奉仕（いさお会館会議室及び神社境内）
17日 岡山市瀬戸遺族連合会役員研修旅行（呉市方面）
靖國神社秋季例大祭（靖國神社）20日まで
18日 千鳥ケ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭（東京・千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
20日 赤磐市戦没者遺族大会（赤磐市吉井会館）
新見市哲多地区戦没者慰霊祭（哲多総合Ｃ）
21日 新見市哲西地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
浅口郡里庄町遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
24日 新見市新見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
久米郡美咲町戦没者慰霊祭（県護國神社）
26日 岡山市足守地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
29日 津山市高田地区戦没者慰霊祭（高田神社忠魂碑）
30日 「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝（沖縄県）二泊
岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）

平成二十三年十一月行事表